

抱樸館を支える会とは？

「抱樸館」の事業を支援し支えることを目的に、2010年4月10日に設立した一般社団法人です。

会の目的 以下の事業・活動を目的としています。

- 生活困窮者支援事業
- 抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- これらに附帯又は関連する事業

組合員みなさんに生活困窮者への支援について少しでも知って欲しいと願っています。

一般社団法人 抱樸館を支える会
会長 三原 幸子さん



私は2010年に抱樸館福岡ができる前の検討から関わってきました。当初、生活困窮者の支援をするとなったとき、正直なところそれは難しいと感じていました。しかし、説明会に参加し話を聞くと、生活することが困難にならざるを得なかった境遇や社会の構図、制度のことなどを知り「これは絶対に応援しないといけない」と思うようになりました。生活困窮者の支援を知る前と後では、考え方が真逆になっていたのです。

同時に私は、明日は我が身であるとも感じました。社会の制度が不十分で、それを訴えている間にも、目の前の命が失われていく現状があります。そう考えた時に、みんなで支えあい、助けあえるのであれば、自分にできることをしようと思いました。

知ることで、物事の見方は大きく変わってきます。そして、組合員みなさんにも支援の輪に加わってほしいと願っています。

「抱樸館を支える会」への寄付金は、子どもたちへの支援にも活かされています。



名島げんきもりもりハウス
子どもの居場所として毎週月・水・土の午後に開放しています。



子どもの居場所づくり

- ・地域の中に、子どもが安心して遊んだり、食事をしたり、学習をして過ごせる居場所が増えていくことは、子どもたちの心の安定につながり、子どもたちの将来を応援していくことになると考えます。
- ・居場所づくりを通して、支えあう地域づくりをすすめています。

フードサポート

- ・教育機関(小・中学校)における食育活動・朝食支援への食品提供。
- ・地域で「子どもの居場所」、「子ども食堂」、「無料の学習支援」を行う個人・団体への食品提供。

あなたも「抱樸館を支える会」の
会員になりませんか

助けあい、支えあい、共に生きる地域をめざして



抱樸館って？

「抱樸館」は生活困窮者が自立に向かうためのステップの場です。



抱樸とは

「抱樸」(ほうぼく)。聞き慣れない言葉かも知れませんが、「樸」は原木、あるいは荒木のことで、山から伐り出されたばかりの原木を、表面がざらついても、とげとげしくても、そのまま抱きとめる。私たちが行う生活困窮者支援の基本姿勢がここにありま。抱樸館では、入居してこられる方を先ずそのまま受け入れます。これからどう生きていくかについて真剣に向きあえる、そんな場所が抱樸館です。



抱樸館はいつでも心のよりどころ

生活に困窮し、住まいを失った方たちの家と心のよりどころとなる場所です。また再び地域で生活していくように支援します。

抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から無償提供いただいた食材で支えられています。



入居者に季節感や家庭に居るような温かい雰囲気を感じていただけるようにしています。

入居期間中は、一人ひとりに相談員が寄り添い、手作りの食事や、共同生活を送る仲間たちとの触れあいなど、温かい関係性の中で、自立に向かえるよう支援します。

約7割の食材を無償提供いただいています。

当初は食材をすべて購入していましたが、2012年より、グリーンコープの取引先から多くの食材を提供いただけるようになり、食材費が半以下になりました。抱樸館に入居して三度の食事をきちんと摂ることで、多くの方が心身の健康を取り戻しています。

抱樸館を退居した後も、地域や地域に住む方々とのつながりが持てるような関係づくりができるよう支援を行っています。

抱樸館に入居されている方のなかには、住む場所や仕事をする場所を失っただけでなく、人と人とのつながりも無くなってしまい、孤立し、孤独になった方も少なくありません。そのような方々が抱樸館を退居された後、地域で生活していく中で、ふたたび孤立し、孤独になることがないよう、地域や地域に住む方々との関係性を築くことが大切だと考えています。



自立に向けた就労訓練

長い間、就労から遠ざかっていた人にとってまず必要なのは、生活のリズムを整えて健康を維持すること。仲間と一緒に働く喜びや、自分の仕事が誰かの役に立っていると感じることも大切なことのひとつです。抱樸館福岡の入居者で、就労が可能な方には*ファイバーリサイクルセンターの就労訓練に参加することを勧めています。ファイバーリサイクルセンターでは様々な種類の就労訓練を実施しています。2010年10月から2021年8月末までに213人が参加し、半数以上の方の就労につながっています。



*ファイバーリサイクルセンターでは、衣類のリサイクルを通して、就労支援やパキスタンの子どもたちの教育支援などを行っています。

相談員から話を聞きました。

抱樸館福岡では、支援プログラムの一つとして、ボランティア活動を行っています。職員や他の入居者と一緒に活動する中で、入居者同士の仲間意識が芽生えたり、入居者一人ひとりが役割を持つことで、お互いに支えあうことができる関係になります。また、活動を通じ、地域の方々との挨拶や会話があることで、人と人とのつながりができ、生きがいを感じることもつながります。抱樸館福岡を退居した後が、本当のスタートラインです。退居後も地域や地域に住む方々とのつながりが持てるような支援をしています。

主な就労訓練の内容

- ・グリーンコープファイバーリサイクルセンターでの衣類の仕分け・梱包作業
- ・青果リパックセンターでの青果やきびさとうの袋詰めサポート業務
- ・社会福祉法人グリーンコープが行っている珈琲焙煎事業のサポート業務
- ・ハウスクリーニングやパソコンなどの技能講習など

抱樸館福岡(福岡市東区)

2010年5月に開所し、2021年の5月で12年目を迎えました。居室数は81室。そのうち12室は、福岡市から受託した一時生活支援事業のシェルターとして、緊急に住まいが必要な方が利用されています。

入居・退居のようす

開所から、これまで1336人の方が利用され、現在は抱樸館福岡には69室中62人、福岡市からの委託事業であるシェルターには12室中10人の方が入居しています。(2021年8月末現在)



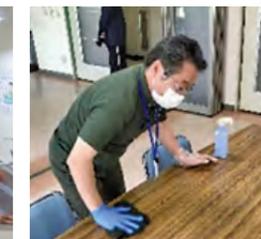
抱樸館福岡では新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して行っています。



入居者全員の安否確認も兼ねて、毎日の検温を実施し、2020年3月から入館制限をしています。



コロナ禍になり抱樸館では毎日、一日6回の館内アルコール消毒を行っています。これも全て入居者からボランティアを募り行っています。



抱樸館福岡

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8
電話 092-624-7771
FAX 092-624-7772

抱樸館北九州(北九州市八幡東区)

2013年9月に開所し、NPO法人抱樸が運営しています。30の居室があり、終の住処(ついのすみか)として、あるいは自立に向けた入居(自立支援住宅)として、入居者の状況に応じて対応しています。抱樸館北九州の施設内には、どなたでも利用できるレストランや、NPO法人抱樸が別事業として運営するデイサービスセンターも併設しています。



入居・退居のようす

開所から9年目を迎えました。これまで98人の方が利用され、現在は30室中29人の方が入居しています。(2021年8月末現在) 終の住処としては、10人の方の最期を看取りました。自立支援住宅は、37期の方々が入居されており、この11月には卒業予定です。

抱樸館北九州

〒805-0027
北九州市八幡東区東鉄町7-11
電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705

抱樸館熊本(熊本市中央区)

アットホームな雰囲気の中で、心休まる場所として過ごしてもらえよう心がけています。



厨房スタッフ 宮部 久子さん



「ご飯をつくるときは、美味しくなあれと想いを込めながら作っています」と宮部さん。入居者のみなさんからも「毎日のご飯がとても美味しいです」と好評です。

2013年6月に抱樸館熊本準備室を立ち上げ、熊本県と熊本市から緊急に保護が必要な方のシェルター事業を受託し、生活困窮者支援を行っています。2018年12月には無料低額宿泊所を開所し、名称も「抱樸館熊本」と改めました。2021年度、熊本県からはシェルター事業とシェルター退所者のアフターフォローを受託し、熊本市からはシェルター事業を受託しています。

入居・退居のようす

開所から9年目を迎えました。これまで300人を超える方が利用されました。現在は19室中6人の方が入居しています。(2021年8月末現在)

抱樸館熊本

〒860-0811
熊本市中央区本荘
電話 096-245-7521
FAX 096-245-7522

「抱樸館を支える会」のみなさんの会費が抱樸館の運営を支えています。

抱樸館は入居者から住居費や食事代をいただいておりますが、それだけでは施設の運営はできません。

支援の結果を組合員のみなさんへお届けします。

人はみな、困っている人がいたら手を差し伸べたいという気持ちを持っていると思います。

この間、グリーンコープで災害支援のカンパ金などを呼びかけたとき、呼応してくださる組合員さんがたくさんいてくださいました。本当にすごいことですし、ありがたいことと思っています。グリーンコープだったら、きっと有効に活用してくれるという信頼関係のもと、お金を託してくださっています。「抱樸館を支える会」も同じことだと思っています。みなさんからの支えや想いを無駄にしないように、有効に使わせてもらいます。使い途を決める私たちとしては、託した想いがどのように活かされたのかの結果をお届けできるようにしています。

一般社団法人 抱樸館を支える会
会長 三原 幸子さん



抱樸館の入居者(当時)と一緒に餅つきをする三原さん(2019年12月撮影)

2021年8月末までに 協力いただいた賛助会員

| | |
|-------------|---------|
| 共同購入組合員 | 10,411名 |
| 店舗組合員と一般の方 | 178名 |
| グリーンコープの取引先 | 102社 |

抱樸館を支える会は、グリーンコープ生協や社会福祉法人グリーンコープ、NPO法人抱樸が正会員で、多くのみなさんに賛助会員になっていただいています。

抱樸館を支える会に寄せられた 寄付金の使途(内訳)(2020年度)

| | |
|----------------|---------|
| 抱樸館(福岡、北九州、熊本) | 1,700万円 |
| 困窮する子どもたちへの支援 | 1,000万円 |
| 広報費 | 170万円 |
| 救援対策基金(※) | 200万円 |

※救援対策基金とは、抱樸館から自立して地域で暮らす方たちが万が一トラブルに巻き込まれるようなことがあった場合、その方をサポートするための弁護士費用などに充てるために特別会計として管理しています。

「抱樸館を支える会」賛助会員のお申し込み方法

グリーンコープの共同購入組合員の方

賛助会員のお申し込みには、2つの方法があります。

1 毎月250円の賛助会費のお申し込み方法(年間3,000円)

何口でもお申し込みいただけます。
毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「うら」面の1300でお申し込みください。

1300 「抱樸館を支える会」 年会費3,000円(月250円×12回)

2 1口1,000円の賛助会費のお申し込み方法

何口でもお申し込みいただけます。
お申し込みいただいた月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「うら」面の1299でお申し込みください。

1299 「抱樸館を支える会」 年会費1口1,000円(一括払い)

GCweb(インターネット注文)の利用登録をされている方は、ホームページやグリーンコープアプリからもお申し込みいただけます。

抱樸館福岡の情報やお申し込み方法などをホームページで案内しています。



抱樸館福岡

検索

賛助会員(寄付金)は毎年自動更新です

賛助会員は一度お申し込みいただくと、翌年以降からは自動更新となります。二重のお申し込みにご注意ください。

(グリーンコープの共同購入の場合)

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。
- ②の賛助会員はお申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、 グリーンコープの店舗組合員の方

1口1,000円の賛助会費を何口でもお申し込みいただけます。
郵便振替でお申し込みください。

郵便振替

01710-0-123003

(一般社団法人 抱樸館を支える会)

お問い合わせ

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング10階 Tel 092-482-1964